

町立厚岸病院は、町民の命と健康を守り、だれもが安心して生活できる地域社会を支える中核的な医療機関として、内科、外科、小児科の基
本診療に加え、整形外科および脳神経外科の定期診療と24時間の救急医療体制を維持するため、患者と共に進める患者目線の地域医療を推進してまいります。

診療に当たっては、『つねに、やさしさ』をもって診療に専心すること
を基本理念として、慢性疾病や負傷の対応のほか、高度・専門医療が必要な重症患者を釧路市内の総合病院との病連携による対応を図るなど、信頼される安心な医療の提供に努めてまいります。

常勤医師の確保については、非常に厳しい状況にあります。地域医療を守るため、診療体制の維持を最重要課題として、北海道や医歯大学をはじめとする関係医療機関と連携し、その確保に全力で取り組んでまいります。

また、同じく厳しい状況にある医療技術員の確保にも取り組み、医療体制の維持を図ってまいります。

新型コロナウイルスワクチンの接種については、『新型コロナウイルスワクチン接種対策室』と連携し、接種体制の確保に努めてまいります。

小児救急やドクターヘリ運航などの広域救急医療については、管内市

町村や関係機関と共に、その体制維持に努めるとともに、厚岸郡の救急医療体制についても、引き続き関係町と連携して取り組んでまいります。

発に努めてまいります。

地域福祉については、本年度からスタートする『第4期厚岸町地域福祉計画』に掲げる目標を達成できるように、厚岸町社会福祉協議会をはじめ、地域福祉に関わる全ての人や団体と連携して、子どもから高齢者までの包括的な支援や各種取り組みを推進してまいります。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、介護予防・生活支援サービスの適切な運用を図るほか、医療や介護サービスなどの制度をつなぎ合わせた支え合いによる地域包括ケアシステムを確立するため、生活支援コーディネートセンターを中心に地域の支え合い体制の充実を図るとともに、地域ケア会議を通じて現状における地域課題を検討しながら、ネットワークを構築してまいります。



また、高齢者が安心して生活できるよう、引き続きキャラバンメイトや認知症サポーターなどの人材を養成し、SOSネットワークの活用を図るとともに、認知症対策として、認知症高齢者の早期発見、保護のため、夜行反射機能付きステッカーの交付事業を創設します。

このほか、福祉交通回数券のさらなる利用促進を図るため、助成額を7千円に引き上げるとともに、介護予防意識のさらなる向上を図るための元気いきいき高齢者応援事業を引

き引き続き実施いたします。



特別養護老人ホーム心楽園と在宅老人デイサービスセンターについては、指定管理者との情報共有を図り、継続的かつ安定的な管理運営と入居者と利用者の安心に資するため、新型コロナウイルス感染症の適切な感染防止策を講じさせるとともに、引き続き施設の維持管理を支援してまいります。

介護老人保健施設『こみ』については、入所者が日常生活を送る力を維持・向上できるように、リハビリを中心とした生活の場として、引き続き安定した施設運営と超高齢社会を支える重要な役割を担ってまいります。